

096

| | | | |
|--|---|----------------|--|
| 令和3年度 | | | |
| 講習の区分 | ＜選択領域講習＞受講者が任意に選択して受講する領域 | 講習時間数 | 6 時間 |
| 講習の名称 | 【選択】地域、流通、経営の視点からみた情報ないしシステムの最新動向 | 講習形態 | 講義 |
| 開 設 者 | 長崎県立大学 | 定 員 | 80 名 |
| 開 設 日/ 時 間 | 令和3年7月3日(土) / 9:55～17:30 | 会 場 | 長崎県立大学 佐世保校 新館2階 505教室(佐世保市) ※6/23変更 |
| 履修認定対象職種 | 教諭 | 主な受講対象者 | 全学校種 教諭 |
| 担当教員(講習代表者) / Eメールアドレス/TEL 担当教員： 村上 則夫(経営学部)/ murakami@sun.ac.jp / 0956-47-2191 | | | |
| 担当教員(分担担当者等) 新川 本(経営学部)、神保 充弘(経営学部) | | | |
| 講習のねらい/講習方法/講習到達目標 講習のねらい：ねらいとしては、①現代社会における地域情報システムによる地域社会の形成のあり方を提案すること、 ②企業経営のあり方や現代的な経営課題を提示すること、そしてさらに、③歴史的な視点を踏まえながら日本企業のマーケティングに関する事柄を論じることを通して、地域、流通及び経営に関する理解と新たな知識を得ることにある。 講習方法： 各担当教員が2時間ずつ(試験時間を含む)講習を担当し、分野ごとに30分間の筆記試験を行う。 講習到達目標： ①地域社会や地域情報・システムに関する最新の動向を把握し説明できる。(村上) ②現代の企業経営に関する最新の動向を把握し説明できる。(新川) ③日本企業のマーケティングに関する最新の動向を把握し説明できる。(神保) | | | |
| 講習内容(概要) /講習計画(時間毎の講習内容を含む) /キーワード 講習内容(概要)：「高度情報社会」とも称される現代社会では、学校教育に携わる教員の間で、「学校教育とICT(情報通信技術)の利活用」に対する関心は高く、また学校教育においてもICTを導入したさまざまな教育が試みられている。そこで、本講習では「高度情報社会」の姿を理解する上で不可欠な情報ないしシステムに関して、地域、流通及び経営という視点から、その基本的な理解や最新動向等について平易に講義し、さまざまな教育現場での指導内容・実践活動などをより充実させることを目的とする。 講習計画・内容： | | | |
| 内容等 | | 時 間 | 担当教員 |
| オリエンテーション | | 9:55～10:00(5分) | 村上 則夫 |
| 講義①「豊かな地域形成と地域情報システムの役割」(休憩10分＋筆記試験30分を含む) | | 10:00～12:10 | 村上 則夫 |
| 昼休憩 | | 12:10～13:00 | |
| 講義②「現代社会と企業経営」(休憩10分＋筆記試験30分を含む) | | 13:00～15:10 | 新川 本 |
| 講義③「日本企業のマーケティング」(休憩10分＋筆記試験30分を含む) | | 15:20～17:30 | 神保 充弘 |
| キーワード： (地域社会の形成、地域情報システム) (現代社会、企業経営) (日本企業、マーケティング) | | | |
| 成績評価の方法 | 成績評価は、各講習担当者が行う試験の成績や講習中の課題への取り組み等から総合的に判断します。 | | |
| 成績評価の基準 | 成績評価は、到達目標達成点を100点とし、総合点で60点以上を合格とします。 | | |
| 履修認定の方法 | 成績評価の総合点で合格点に達した受講者に対して履修認定します。 | | |
| 教科書・教材・参考書 | 【参考文献】 特にありません。講義時に必要となるレジメや資料等を配付いたします。 | | |
| 各自で準備するもの | 特に必要ありません。 | | |
| 受講上の注意 | 1. 「講習の名称」が同じものは1度しか受講できません。 2. 視聴障害や聴覚障害などのため、受講に際して特別な配慮が必要な方は、受講申込前に事務局へお問合せ下さい。 3. 遅刻は原則として認めません。 | | |